

メディア センター ニュース MEDIA CENTER NEWS

釧路明輝高校図書局

制作者： 益子（1－3）、水島（1－3）

2020／11／18

皆さんは、後期中間考査はどうでしたか？良くも悪くも見直しをして次につなげましょう。

さて、今回は私たち一年生局員のおすすめ本の紹介です。皆さんも読んでみたくなるような本ばかりですよ!!

トイ・ツリーの国

有川 浩 （新潮社）

聴覚障害ということ隠して生きてきた「ひとみ」が半年前から「レインツリーの国」というブログで好きな本「フェザーゲーム」について綴っていた。そして、中学の頃から「フェザーゲーム」の物語を読んでいた会社員「伸行」が「レインツリーの国」を見つける。互いの「フェアリーゲーム」に対する感想や考察が飛び交う中、難聴と向き合いながら進展する二人の恋愛物語の行方とは！？

私が特にひやとしたのが、「伸行」が「ひとみ」の気持ちを考えずに隠してきた聴覚障害のこと周囲に訴える場面です。

「ひとみ」が「伸行」との交流を絶とうとしているのではないかと感じてとても焦りました。しかし...どうなるかは皆さんが実際に手にとって確かめてください。

ハリーポッターと不死鳥の騎士団

J. K. ローリング（静山社）

ハリーは「ホグワーツ魔法魔術学校」の5年生。昨年行われた「トライウィザードトーナメント」で宿敵ヴォルデモートの復活を目にし、恐怖する。夏休み、マグルの市街地でヴォルデモートの差し金と思われる悪魔がハリーと従兄弟のダドリーに襲いかかる。マグルの面前で魔法を使ったことを魔法省に咎められ、一時は退学寸前まで追い込まれる。それを救ったのが、「不死鳥の騎士団」らしいのだけど？！ハリーに訪れる甘酸っぱい恋、思春期の悩み、たびたび見る黒い扉の悪夢、悲しい別れ、それらを乗り越えてこそ、「生き残った男の子」は存在する。

この巻はハリーポッターシリーズの中でも重要な要素が詰め込まれている素晴らしい一冊です。シリーズの中でも一番分厚く、ページ数が多いため、読み終わった後の達成感が強烈です。皆さんもぜひ一度手に取ってみてください。

読書・長い文章が苦手な方向け

5分後に禁断のラスト

エブリスタ編集 （河出書房新社）

1つの話をたった5分で読め、その最後には誰もが予想しない禁断のラストが待ち構えています。どんなラストか予想するのも1つの楽しみです!!

この他にも面白い本・感動する本など、たくさん本がありますのでぜひメディアセンターに足を運んでください!!